

## 障害を持つ人が着たい服を手に入れやすい衣服環境への取り組み

看護部と研究所（障害工学研究部、障害福祉研究部）と文化服装学院 文化・服装形態機能研究所が、昨年度より協力して調査研究を始めました。

本年度から、さらに障害者の座位姿勢の衣服作製のため工学的観点から、（独）産業技術総合研究所とも共同で研究を始めました。

障害の有無に係わらず、おしゃれな服を、また心地よい衣服を誰もが楽しめる環境、仕組作りの促進を国立障害者リハビリテーションセンターとご協力してくださる多くの方々とで促進したいと考えています。

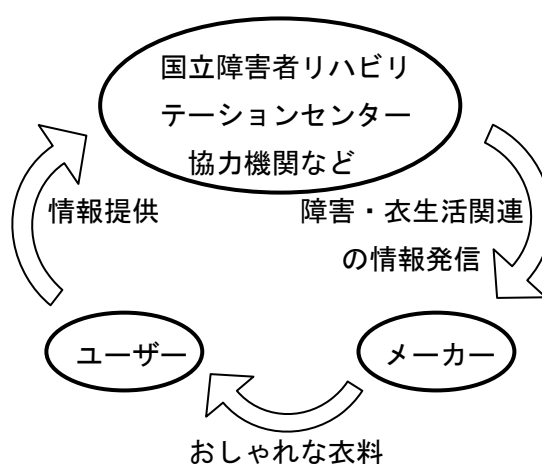


図1 昨年のショーの一部（ビジネススーツ） 図2 障害・衣生活関連の情報発信

昨年度、利用者さんらのご協力を得て、計測、仮縫い、実物製作を行い、国立障害者リハビリテーションセンターの多くの職員、趣旨に賛同頂いた方々の応援もあり、課題の存在を知って頂くこととご協力をお願いを兼ねて、その成果の一端として「あなたの気持ちを叶えたい」をテーマにモデル5名でセンター主催のファッションショーを開催しました。結果の一部は、後述のウェブサイトにて公開しています。

本年度は、12名のモデル（予定）で、「気楽におしゃれ、始めませんか」をテーマにカジュアルなおしゃれを車いす利用者等にご協力いただき以下の予定でファッションショーの準備を進めつつあります。また、合わせて情報提供の一環として展示も行う予定です。

日時：2012年12月19日（水）

場所：国立障害者リハビリテーションセンター（埼玉県所沢市並木4-1） 講堂

<http://www.rehab.go.jp/ri/event/fashion/top.html>

研究代表者：障害工学研究部 小野栄一  
ono-eiichi@rehab.go.jp